

# 第6学年1組 図画工作科学習指導案

平成27年5月28日(木) 第5校時

児童数 16名

指導者 榎本 浩子

場所 なかよしルーム

- 1 題材名 墨のうた  
～音楽を聴きながら～  
A表現(2) ア、イ、ウ  
B鑑賞(1) ア、イ

## 2 題材について

### (1) 児童の実態

本学級の児童は、事前のアンケートの結果87%が図工好きであり、13%がどちらかという図工が嫌いである。好きな理由としては「アイデアがどんどん浮かぶから」、嫌いな理由としては「アイデアが浮かばないから・道具が上手く使えないから」が挙げられた。児童は6年になり「感じたままに花」の題材で、プレ題材として白い紙を貼り合わせた大きなキャンパスをつくり、パレットの使い方から始まり、描画材料(水彩絵の具、コンテ、クレヨン、クーピー、マジック)や技法(ぼかし、にじみ、グラデーション、ストリング、スパッタリング、たんぼ)の扱い方などを体験できる時間を設け、本題材に取り組む活動をした。そうしたことにより、扱う材料や用具、技法の種類が増え、自分の表したいことに合わせ用具を選ぶことが少しずつできるようになってきている。その一方で自分の思いをどのように表現したらいいのか戸惑ってしまう児童もいる。

### (2) 題材について

本題材は、墨という伝統的な材料を用い、児童の発想を生かしながら、自由に表現させることで、造形、表現活動の快さや楽しさを十分に体験させることをねらいとしている。自己のイメージを自由に表現する心地よさを味わうとともに、生まれた表現の一つ一つに自分の思いを込めて表すことで、自信をもって自己表現できる題材である。

### (3) 本題材を指導するに当たって

指導に当たっては、あえて墨一色で表現しようと色を限定することで、そこからの表現の広がり、表現の自由さを感じられるようにしたい。そのために、事前に濃さを変えた墨を何種類か作っておき、自分の思いに合った濃さの墨を使うことを意識させたい。

また、墨は、かすれさせたり、にじませたり、ぼかしたりすることで、様々な表現を演出することができる。筆、刷毛、段ボールの切れ端、割り箸など、様々な表現するための用具を事前に用意し、プレ題材を体験することで、自分の思いにあった表現が広がるようにしたい。

さらに、一人ひとりが生き生きと大胆に表現できるようにするため、活動の場を多目的ルームにし、広い活動空間を確保する。そこにブルーシートを敷いて、その上で、大胆に表現できるようにし、様々な表現方法を試しながら、自分の思いをもって、生き生きと表現できるようにしていきたい。

鑑賞に関しては、プレ題材では紺色のラシャ紙を台紙とし、本題材では襖紙を掛け軸に見立てた台紙とするなど展示の方法を工夫し、自分や友だちの作品のよさや美しさ、表し方の違いを味わわせたい。また、雪舟の作品のよさや美しさを感じさせたい。

## 3 研究主題との関わり

研究主題 「感性を働かせ、自ら学び、伝え合う子の育成」

副題 図画工作における児童の思考力・判断力・表現力を育む指導方法の工夫

仮説1 「導入」の工夫や「展開」において豊富な材料・技法を体験させることにより児童は、感性を働かせ、自ら学ぶことができるであろう。

- 手立て
- ①教科書を効果的に活用して、課題をわかりやすくおさえられるように工夫し、興味・関心を高め、児童が活動の見通しを持てるようにする。
  - ②導入は題材の最初の時間は15分以内、その他は5分以内とし、製作の時間を十分に確保する。
  - ③展開において「音楽を聴きながら表す」体験を通して、墨でかかれた形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のイメージづくりをさせる。
  - ④身のまわりにあるものを筆のように表現できるよう用意したり、墨を濃淡何種類かつくったりする等の工夫をし、いろいろな表現を試せるようにする。

仮説2 「まとめ」及び作品提示の工夫や「展開」において個に応じた支援を行うことにより、児童は感性を働かせ伝え合う力を高めることができるであろう。

- 手立て
- ①活動の過程で鑑賞を行うことで、試して見つけた工夫を学び合う機会を増やす。
  - ②意図的な言葉かけをすることで、児童の思いを生かす支援をする。
  - ③協力して時間内に片付けをさせる。
  - ④作品提示の工夫をする。

※「4つの実践と3減運動」との関わり

- ・授業中のあいさつ、返事の励行
- ・鑑賞での友達との認め合い

#### 4 目標及び評価規準

##### (1) 目標

墨や筆、和紙の特徴を知り、表現する楽しさや快さを味わう。

##### (2) 本題材における〔共通事項〕

音楽を聴きながら表す活動をもとに、自分のイメージをもち、墨で表現された形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえる。

##### (3) 本題材における評価規準〔◆「努力を要する」と判断される状況（C）の児童への支援〕

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	発想や想像の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
音楽のイメージから表現するきっかけをつかんで、 <u>墨で表すことの楽しさやおもしろさ、作品の美しさを味わい、自分の考えや思いを表そうとしている。</u>	音楽を聴きながら画面を構成し、気に入った <u>墨の濃淡を表現しながら考えたり試みたりしている。</u>	<u>墨や筆の扱い方を工夫し、表現方法をいろいろ試しながら表現している。</u>	いろいろな表現方法を楽しみ、友だちの作品のよさや表し方で違いなどを感じ取っている。また、雪舟の鑑賞を通して、水墨画の見方、感じ方を深めている。
◆一色の墨であっても、その表現方法により様々な効果が生まれることを参考作品から具体的に提示し、自分もかいてみたいという意欲を引き出す。	◆一緒に表現しながら表現方法や画面構成による効果を具体的に提示し、自分の考えや思いを明らかにさせながら、構成できるように支援する。	◆自分の考えや思いを表せるような表現方法を具体的に提示したり比較させたりしながら、工夫ができるように支援する。	◆表現の違う作品を見て、その効果の違いを説明したり、友だちの意見を聞かせたりして、それぞれのよさを感じ取れるようにする。

5 指導計画・評価計画（3時間扱い）

時間	学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">提案1：墨でおもいっきり遊ぼう！</div> <p>○参考作品を見る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">教</span> ○プレ題材を体験する。</p>	○				<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">関</span> 描画材料の観察・発言・表情
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">提案2：音楽のイメージから 墨のおもしろさを生かして表そう♪</div> <p>○濃さの違う墨や筆の種類の違いを考え、音楽のイメージに合わせて表現する。</p>		○	○		<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">発</span> 行動観察・表現 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">創</span> 行動観察・発言 表現
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">提案3：鑑賞パーティーをしよう！</div> <p>○自分や友達の作品のおもしろさや気に入ったところを見つけ、話し合う。 ○雪舟の作品を鑑賞し、感じたことや思ったことを発表し、水墨画のおもしろさを理解する。</p>				○	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">鑑</span> 行動観察・発言 発表 ふりかえりカード

6 本時の学習（本時 1 / 3時）

(1) 目標

- ・墨の濃淡や工夫した描画材料を使って、いろいろな表し方を楽しむ。

【関】

(2) 準備

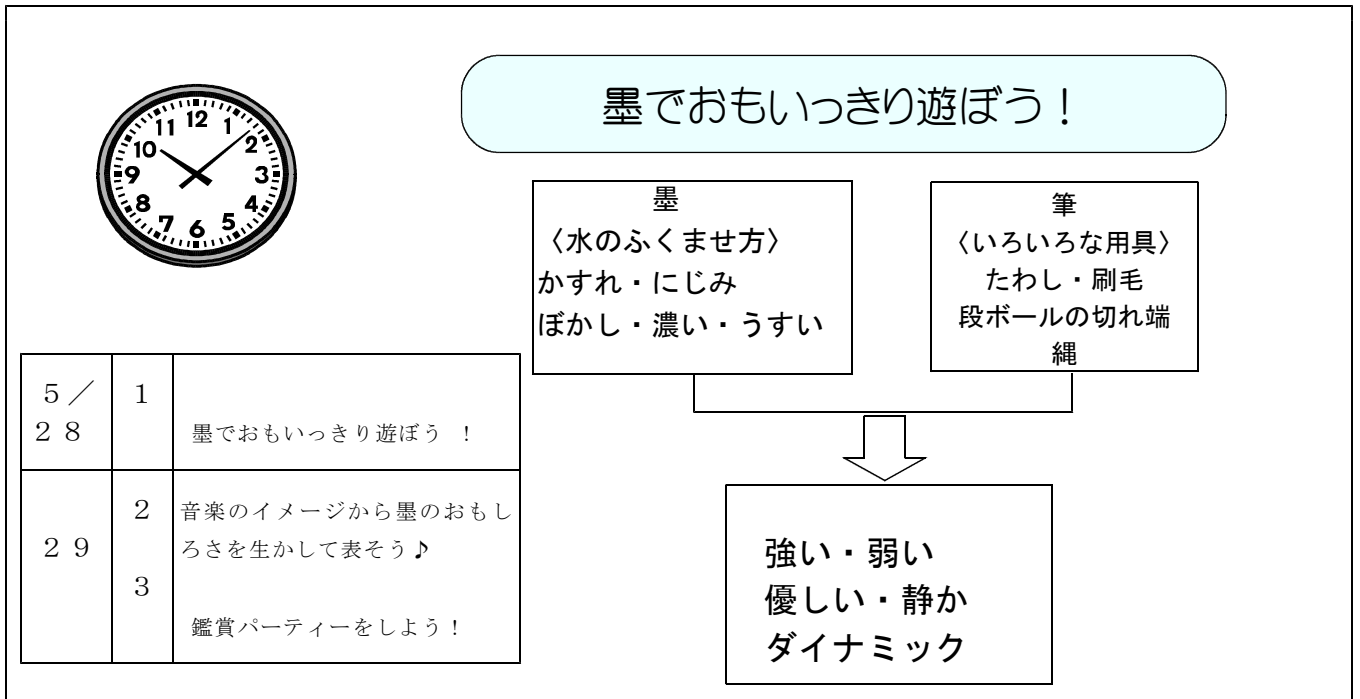
- 教師 教科書、書き初め用紙、半紙、墨、筆、水、筆代わりにする身近材料(たわし、刷毛、段ボールの切れ端、縄など)、霧吹き、墨入れ（ペットボトル）、ブルーシート、新聞紙、雑巾、バケツ
- 児童 教科書、筆、筆代わりにする身近材料、墨入れ（ペットボトル）、新聞紙、雑巾

(3) 展開

時間	学習活動 ※ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">関</span> マークは教科書を 活用する場面	学習内容	○指導上の留意点（配慮・手立て） ◎評価 [共] 共通事項に係る内容 ◆努力を要する児童への手立て
導入 15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">提案1：墨でおもいっきり遊ぼう！</div> <p>1 単元を知る。 【仮説1 手立て②】</p> <p>2 参考作品を見ながら、自分の気に入ったところを紹介し合う。 【仮説1 手立て①】 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">教</span></p>	<p>○表現の特徴を表す言葉 (墨)・かすれ・にじみ ・ぼかし・濃い・薄い (筆遣い) ・強い・弱い・優しい</p>	<p>○題材を黒板に掲示する。</p> <p>○教科書や参考作品のよさや美しさに触れさせ、どのようにして表されたものであるか、また、どのような描画材料で表されたものかクイズ形式で答えさせることで興味をもたせ</p>

	<p>3 見通しをもつ。 【仮説1 手立て②】</p>	<p>・寂しい</p> <p>○計画的な学習活動</p>	<p>る。</p> <p>○どんな描画材料で表したのか使った描画材料を提示し意欲を高める。</p> <p>○児童を1カ所に集めて、実際にやってみせ、関心や意欲を高め、表現が広がるようにする。</p> <p>○本時の流れを黒板に掲示する。</p>
<p>展開 20分</p>	<p>4 プレ題材を体験する 【仮説1 手立て④】</p> <p>・墨と様々な筆を使って、どんなことができるか試し、表していく。</p> <p>・和紙の大きさや用具の使い方を考えながら、自分の表したいことを見つけ、工夫する。</p>	<p>○用具を選びながら、さまざまな方法を墨を使って気持ちを表すことを楽しみ方。</p> <p>・筆や刷毛の動かし方の工夫</p> <p>・水のふくませ方の工夫</p> <p>・用具の工夫</p> <p>・アイディア</p>	<p>○一人ひとりが生き生きと大胆に表現できるようにするため、活動の場をなかよしルームにし、広い活動空間を確保する。</p> <p>○墨の濃淡や用具の違いによる異なった表現を試しながら自由に表現する楽しさを味わう時間を設定する。</p> <p>○墨の濃淡や用具を使用する際の強弱、スピードなどを変えることでいろいろな表現ができそうだという思いをふくらませていく姿を見守る。</p> <p>○活動に広がりや深まりが表れるように、用具の使い方をともに考えたり、新たな発想で表現方法を工夫したりしている児童を紹介する。</p> <p>また、思いや願いを自分のイメージに近づけようと線や形にこだわり、試行錯誤しながら表現を追究している児童を称賛するとともに、その姿を紹介する。</p> <p>○様々な表現の可能性を追求させるために、薄墨用の容器や筆の代わりになる用具は、児童が用意したものに加え教師も十分な数を確保する。</p> <p>◎墨の濃淡や描画材料を使って、いろいろな表し方を楽しんでいる。</p> <p style="text-align: right;">【関】〔共〕</p> <p>◆筆だけや、ひとつの濃さの墨だけで表している児童には、対話したり一緒に試したりしながら、やってみたいと思えるように支援する。</p> <p>○作品を鑑賞し合い、互いの作品のよさや表し方の違いなどを感じ取って、次時の活動の参考にする。</p> <p>○次時は、音楽を聴いて、そのイメージを表現することを伝える。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 本時のまとめと次時の活動を知る。</p>	<p>○作品鑑賞</p>	<p>○協力して、時間内に片付けることができるようにする。</p>
	<p>6 片付けをする。 【仮説2 手立て③】</p>	<p>○後片付け</p>	

7 板書計画



8 場の設定 (なかよしルーム)

